

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		地域おこし協力隊事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040105001043
				単独/補助	単独		025101
政策体系		政策体系上の位置付け				所属課	ヤマザクラ課
総合計画の施策名		0401 農林業の振興				課長名	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり				グループ	ヤマザクラグループ
施策名		01 農林業の振興				担当者名	
手段名		05 ⑤森林(里山)の保全と魅力づくり					
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	02	01	18	04	00	地域おこし協力隊事業
法令根拠		地域おこし協力隊推進要綱、桜川市地域おこし協力隊設置要綱 桜川市地域おこし協力隊活動補助金交付要綱					

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
地域おこし協力隊員への地域協力活動の全体のコーディネート及び服務規律、活動規律の確保。 総務省が平成21年度から実施している制度で、都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、おおむね1年以上3年以下の期間、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種地域協力活動に従事してもらいながら、桜川市への定住・定着を図る取組。(平成29年度から任用開始) 特別交付税措置(募集等に要する経費地方自治体あたり200万円上限、活動に要する経費1人あたり440万円上限、令和3年度は470万円上限、起業・事業承継に要する経費1人あたり100万円上限)	地域おこし協力隊事業に関する事務 設置要綱等の策定 広報、募集 隊員の任用、更新等の手続 隊員の活動に関する総合調整 隊員の活動地域との調整及び住民への周知 隊員の活動終了後の定住支援 その他、行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
地域おこし協力隊事業に関する事務 設置要綱等の策定、広報、募集 隊員の任用、更新等の手続 隊員の活動に関する総合調整 隊員の活動地域との調整及び住民の周知 隊員の活動終了後の定住支援 その他	地域おこし協力隊員の任用人数	人	3.00	4.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民	桜川市の人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市内への定住・定着を図る	地域おこし協力隊員活動終了後の定住者数	人	0.00	1.00	1.00	2.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	10,690	17,540	23,112
	事業費計(A)	千円	10,690	17,540	23,112	
	正規職員従事人数	人	1.00人	3.00人	3.00人	

02年度事業費 実績(千円)		03年度事業費 予算(千円)	
01 報酬	7,477	01 報酬	10,306
03 職員手当等	1,090	03 職員手当等	1,957
04 共済費	1,315	04 共済費	1,851
08 旅費	4	08 旅費	592
10 需用費	977	10 需用費	1,269
11 役務費	91	11 役務費	388
12 委託料	1,883	12 委託料	1,599
13 使用料及び賃借料	1,299	13 使用料及び賃借料	1,344
18 負担金補助及び交付金	3,404	17 備品購入費	550
	合計	17,540	23,112

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事務事業No.	40105001043	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 総務省が平成21年度から実施している制度で、桜川市においては、平成29年度から任用開始し、R3.3月現在、3名の隊員が活動している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市内外へ地域の魅力を発信したり、地域活動に参加したりしている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域おこし協力隊推進要綱、桜川市地域おこし協力隊設置要綱による取り組みであり結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域外の人材を積極的に誘致し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、定住・定着を図る取り組みであり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 地域おこし協力隊員の活動内容は、地域の魅力発信や定住に向けての起業や就職、事業承継等を目指した地域資源を活用した活動など様々である。隊員を活動内容にあった課に配置することで支援が受けやすくなり活動しやすくなるので向上余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 平成29年度から毎年1名ずつ任用しており、隊員同士の協力体制も整えられつつある。廃止、休止となると、これまでの活動が中途半端となり、隊員の定住定着へ結びつかないなど影響が考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 特別交付税対象経費(限度額)以内で予算措置している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	H30.2.1から任用した1名がR3.1.31で任期満了で退任し市内で起業し定住となった。 H31.4.1から任用した1名は任期半ばではあるが県外に就職が決まったためR3.3.31退任予定、R2.2.1~1名、R2.5.1~1名を任用し活動している。行政や地域住民、関係団体等の連携など活動に伴う報告、連絡、相談を行いながら、隊員とのコミュニケーションを図った。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地方への定住・定着を目的とした地域おこし協力隊の制度ではあるが退任後の生活や就業が成り立たないと定住は難しい。活動内容にあった課に隊員を配置することで活動支援が受けやすくなる。		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認